

## 第5学年 道徳科学習指導案

日時 平成29年11月 2日(木) 3校時  
児童 5年1組 男16名 女14名 計30名  
授業者 柳瀬直哉  
特別支援 大津恵生

1 主題名 役割の自覚 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】

2 教材名 「森の絵」(「みんなのどうとく5年 岩手県版」学研)

3 主題設定の理由

### (1) 道徳的価値について

新学習指導要領第5学年及び第6学年の内容の「C 主として集団や社会との関わりに関すること」の「よりよい学校生活、集団生活の充実」は、「先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること」とある。これは、先生や学校の人々を尊敬し感謝の気持ちをもって、学級や学校の生活をよりよいものにしようとすることや、様々な集団の中での活動を通して、自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めることに関する内容項目である。この内容項目は、次のように発展していく。

低学年	中学年	高学年	中学校
先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすること。	先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。	先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。	教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。

高学年となり、委員会活動やクラブ活動、行事など、学校内で果たさなければならない役割や責任が増えてきている。また数か月もすれば6年生となり、今後ますますリーダーとして行動する機会が多くなる。この時期の児童は、集団の目的や意義を理解し、自分の役割を考慮することができる時期であり、さらに集団のために役に立とうと創意工夫して活動しようとすることができる。身近な集団の中での自分の役割を自覚し、協力して役割を果たそうとする心情を育て、集団のために自分がすべきことを主体的にやり遂げようとする態度を育てたいと考える。

### (2) 児童について

事前アンケート(『したくない仕事があったとき、あなたはどのようにしますか』)を実施し、価値への意識づけを行う。結果は、以下の通りである。

- ・決まってしまったことだから、やるしかない…13名
- ・いやだけど、おこられる(周りに言われる)からやる…9名

- ・やらないことがあった…4名
- ・経験がないからわからない…1名
- ・みんなもしているからやる…2名
- ・みんなが困るからやる…1名

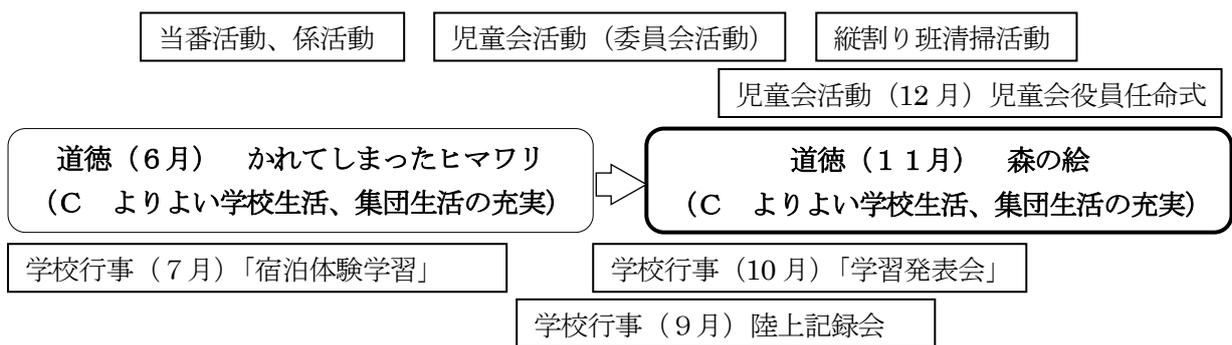
児童は5年生になり、委員会活動のほか、高学年としての役割を担いながら諸活動に参加し半年が経過している。また、間もなく児童会役員が代替わりすることもあり、自分たちが最高学年として全校をリードしなくてはならないと感じている。6月に学習した「かれてしまったヒマワリ」では、委員会で任された仕事をしなかった主人公を通して、何のために仕事をしているのかを考えることを通して、責任とは何かについて考えた。児童には、意欲や責任感を持続し続け、取り組み続けられることを望むが、自分の責任を最後まで果たさなかったり、自分の担当する仕事にしか目を向けなかったりして、集団のためにできることを主体的に、協力して行うことができないことがあることも考えられる。そこで、集団のためにできることを主体的に考え、役割を自覚して最後までやり遂げることが、よりよい集団生活をつくることになることに気づかせていきたい。

### (3) 教材について

本教材は、主人公えり子が学習発表会で自分が望んだ役を譲り、不本意な役になる。道具係の仕事に気乗りせず、どこか投げやりな態度だったえり子だが、だれかがやらなければ劇が完成しないと一生懸命に衣装係の仕事に取り組む文男の様子や、クラスの友達の取り組みの様子などを見て、気持ちが前向きに変わっていくという内容である。えり子の仕事に対する心情や考え方を共感的または批判的に考えながら、協力して責任を果たすことの大切さを感じ取るようにしたい。

本教材は、これまでの行事や日常の学校生活を振り返るとともに、今後の学校生活をよりよいものにするために、自分がすべき役割は何か主体的に考え、最後までやり遂げることこそが、よりよい集団をつくることにつながるということに気づかせる上で効果的な教材であると考ええる。

## 4 主な各教科等との関連



## 5 本時の指導

### (1) ねらい

学習発表会に向けてのえり子的心情などの変化を共感的または批判的に考えることを通して、集団をよりよくするためには自分の役割を自覚し、協力して仕事に取り組むことが大切であることに気づかせ、主体的にその役割を果たすことで、よりよい集団をつくっていかうとする態度を育てる。

(2) 展開

階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 2分	<p>1 価値への関心を高め、課題意識を持つ。</p> <p>・事前アンケート結果を提示する。</p>	<p>・図書当番を、みんなが困らないようにしている。</p>	<p>・教材文を事前に読ませる。</p> <p>・事前アンケート結果を提示し、価値についての意識付けを図る。</p>
展開 前段 30分	<p>2 教材を基に話し合う。</p> <p>・教材を読み、課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>えり子がやる気になっていったのは、なぜだろう。</p> </div> <p>○学習発表会で「森は生きている」を発表することに決まった時、えり子はどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>○道具係で絵筆を持つ手に力が入らないえり子は、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>◎えり子がやる気になっていったのは、なぜだろう。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【効果的な中心発問の設定】</b></p> <p>○登場人物の考えや判断、行為の理由を問う発問 (場面発問)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>えり子がやる気になっていったのは、なぜだろう。</p> </div> <p>・知っている話だったのでうれしい</p> <p>・やってみたい役があるので楽しみだ</p> <p>・やりたい役ができなくてくやしいから、やる気がしない</p> <p>・道具係をがんばっても仕方ない</p> <p>・ゆずらなければできたかも</p> <p>・文男の「だれかがやらないと、げきにならないじゃないか」という言葉を聞いたから</p> <p>・文男が苦手な刺繍をがんばる姿を見たから</p> <p>・文男に絵をほめられたから</p> <p>・めぐみや修のがんばっている姿を見たから</p> <p>・自分の役割に気づいたから</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【話し合いの工夫】</b></p> <p>○学習形態</p> <p>・隣同士や班 (3人組)</p> <p>○学習の進め方</p> <p>・結論をまとめる</p> </div>	<p>・感想をもとに、登場人物に着目させ、課題につなげさせる。</p> <p>・演目が決まった時には、やる気があったことをおさえる。</p> <p>・自分が望んだ役になれなかった結果、積極的に自分の役割を果たそうという気持ちになれないえり子の気持ちを共感的または批判的にとらえさせる。</p> <p>・グループで意見を交流させることで、文男の姿と言葉をきっかけに、めぐみや修の様子、文男の声掛けを通して、自分の役割に気づいていくえり子の気持ちの変化に気づかせる。</p> <p>・自分の事しか考えていなかったことに気づいたえり子の思いをとらえさせることで、自分の役割を自覚し、協力して仕事に取り組むことの大切さについて気付くようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価の方法 話し合いの観察、発言</p> <p>評価の視点 えり子の心情などの変化や行動を共感的または批判的にとらえながら、集団をよりよくするためには自分の役割を自覚し、協力して仕事に取り組むことが大切であることに気づくことができたか。</p> </div>

	○ポスターカラーをのびのびと皿にときはじめたとき、えり子はどんなことを考えたでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・げきを成功させたい</li> <li>・みんなのためにがんばろう</li> <li>・もっといい絵を描こう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演目が決まった時のやる気と、今のやる気の違いに気付くようにする。</li> </ul>
展 開 後 段  10 分	<p>3 道徳的価値の内面的自覚を深める。</p> <p>○今日の学習をもとに、これから学校や学級をよくするために頑張りたいと思ったことを、具体的に書きましよう。</p> <p><b>【自己を見つめる発問の設定】</b> 具体的な価値（内容項目）を入れて問う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊び時間が少なくなるけど、みんながよい挨拶ができるように、自分の仕事を頑張っていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の具体的な役割を思い浮かべ、どのように取り組むか発表し合うことで、集団をよりよくするための一役を担っているという自覚と、今後の活動への意欲をもたせる。</li> </ul>
	<p>評価の方法 うみねこノートの記述</p> <p>評価の視点 よりよい集団をつくっていくために、集団の中での自分の役割を自覚し、主体的に役割を果たそうと考えることができたか。</p>		
終 末 2 分	<p>4 今後の実践につなぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の作文を紹介する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事などの振り返り作文の中から、集団のために頑張った児童の作文を紹介し、今後につなげる。</li> </ul>

(3) 板書計画

えり子  
絵

○みんながあつとおどろくようなすてきな森の絵をかこう  
わたしもクラスのためにがんばろう  
みんなで成功させよう  
楽しくなってきた

文男  
絵

○慣れない手つきで、一針一針ていねいにぬ  
つている  
「だれかがやらないと、  
げきにならないじゃないか。」  
自分の事しか考えていなかった  
文男はえらい

○他の人も頑張っているから  
○ほめてもらったから

森の絵

えり子がやる気になっていったのは、なぜだろう。

○「森は生きている」  
楽しみ・うれしい

**道具係のえり子**  
○絵筆を持つ手に力が入らない  
やりたい役ができないから  
くやしい・やる気が出ない  
どうでもいい

**衣しよう係の文男**

自分の役割を果たすことが、よりよいものをつくる

(4) 教材分析図

教材名 「森の絵」(「みんなのどうとく5年 岩手県版」学研)

ねらい 学習発表会に向けてのえり子の心情などの変化を共感的または批判的に考えることを通して、集団をよりよくするためには自分の役割を自覚し、協力して仕事に取り組むことが大切であることに気づかせ、主体的にその責任を果たすことで、よりよい集団をつかっていこうとする態度を育てる。

場面	学習発表会で発表する劇が決まり、クラスで役割分担をする場面。	役割が決まり、それぞれの仕事にみんなが忙しく取り組む場面。	同じ図工室で、一生懸命仕事をする文男の姿を見る場面。	それぞれが、準備に力を入れて取り組んでいる場面。
状況	・自分がしたかった役になれず、がっかりするえり子。	・道具係になったものの、気乗りせず、どこか仕事に投げやりな態度のえり子。	・好きではないししゅう係を慣れない手つきで取り組んでいる文男を見たえり子。	・文男の言葉が忘れられない、めぐみの手伝う姿、修の姿を見て、やる気がわいてくるえり子。
登場人物の心の動き				

